

2017GW 南日高縦走

L：栗山 M：福家

今年のGWはどこへ行こうかな～、なんて総会後の飲み会で言っていたら、K子さんがオプタテへ行くと聞く。なんか長く山で泊まりたいな～なんて漠然と思っていた。なんとなく俺もオプタテ行こうかな～って思ったけど、なんとも自分的に盛り上がらない。。

ウチに帰って、急に思いつた。。

” そうだ！日高へ行こう！”（♪い～い日～旅立ち～ JR西日本。。♪）

てな訳で、K子さんへオプタテ行けない連絡して、早速パートナー探し。

掲示板に書いて、日高へ行きそうな人に直接連絡。思った通り、最有力候補だった福家さんが引っ掛かった。その後、小野mさんも引っ掛かるが、私的事情で断念。

かくして、50代ヨレヨレパーティーが出来上がった。

4月29日 晴れ

AM11時頃札幌を出る。静内のイオンで福家さんと合流。ゲートが開いてなかったら…と心配しながら神威山荘へ。無事ゲートも開いており、神威山荘に福家車をデポ。雪ちょっと少ないかな～なんて山を見上げ、ここへ無事降りてこれる事を願う。

栗山車で天馬街道へ。野塚Pで車中泊CO。軽く飲んで、早めに就寝。

4月30日 晴れ

4時起床。飯を食べていると、さっさと出発する2パーティーがいた。日帰りでピリカヌプリ狙いだらう。我々はのんびり準備して5:20出発。P脇から雪が有り、朝の冷え込みでガチガチ。最初からアイゼン付けて行く。

プレで雪崩敗退したポイントで一休み。今日は雪崩の危険は全く感じない。休んでいると単独の若い登山者が。オムシャ日帰りだと言う。元気一杯は良いが、簡易アイゼンはいけてないな…



トヨニは遙か

雪が硬くアイゼンが良く効き快調に高度が上がる。野塚直下の滑落しそうな急斜面をピッケル出そうか迷いながらストックで抜けた。稜線上に荷物をデポして、野塚ピークへ。8:45野塚岳ピーク着。まずは1座目である。

少し休んでトヨニへ急ぐ。トヨニは遙か彼方に見える。今日の行程は最も長いと思われるのだ。雪が腐ってきたのでワカンに替えて進んだ。途中少し細めの所や一部ブッシュもワカンのままやり過ごす。

途中、トヨニ日帰りの尾根からは複数のトレースが有り楽させてもらう。日帰り登山者数パーティーに出会う。大荷物に皆ビックリしていた。15:10トヨニ岳本峰着、2座目だ。

そそくさとコルへ降りて予定通りC1とした。今晚風が強い予報だったので、半雪洞を掘りテントを入れた。製作時間1時間強。初日から頑張り過ぎでへろへろ～

5:20 野塚P発～8:45 野塚岳P～15:10 トヨニP～15:20 コルC1

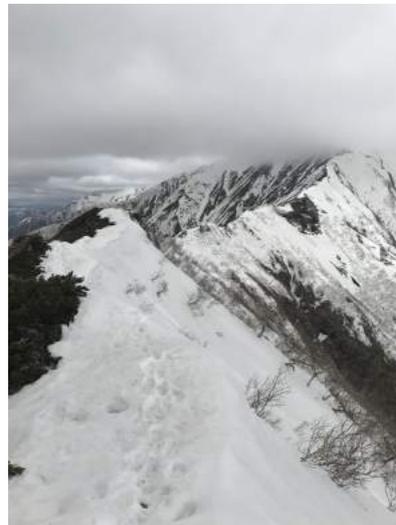
行動：10時間、水平距離：9.27km、獲得標高差：約1270m

5月1日 ガス後晴れ

今日は少し行程が短い事もあり、5時起床とした。6:50 出発。少しガスっていて、少し強風だが、大きな問題は無いので先へ進む。



ガスガス



雲の中

7:40 トヨニ北峰着。これは1座と数えない。少しずつガスは取れてきたが、ピリカヌプリは雲の中だ。ピリカの急登を登っているうちに、ピークが晴れてきた。

12:55 ピリカヌプリピーク着。3座目。ピリカ北面の大斜面を降りて休憩。今日は時間的にも余裕がある。予定のC2地点を越えてコルでC2とした。

今日は整地してブロックで風除け。それにしても、福家さんブロック作りがダメダメ～



左奥がピリカヌプリ

6:50 C1 出発～7:40 トヨニ北峰～12:55 ピリカヌプリピーク～15:26 C2

行動：8時間36分、水平距離：8.26km、獲得標高差：約652m

5月2日 晴れ

4時起床、6:28 出発。朝からソエマツ下りの靴幅リッジの事が心配な福家さん。だいぶ二人とも疲れてきている。ソエマツへの登りが雪が少なく見える。雪の無い所は何とか夏道を探して歩くが、藪には少してこずる。

9:25 ソエマツ岳ピーク着。4座目～！

それにしても、見事なパノラマ。遥か遥か遠くにトヨニ岳、ピリカ、先には神威岳が。



素晴らしい景色を堪能しつつ、細いリッジを下る。なかなか細く、左右とも切り立っていて高度感が有る。緊張しつつ慎重に下る。これが靴幅リッジか？なんか違うような気がする…。更に進むが、それなりに悪いリッジが有るが、それなりに感じ。もう無いかな～と思ったら 1468P を過ぎると、有りました靴幅リッジ。でも藪藪。藪に足を取られない様に慎重に行く。藪細リッジの向こうが岩の下りになっている様な気がして、大事を取って、側壁をトラバースして行く。今山行で初めてピッケルの出番。まあ、何とかトラバースしてリッジに戻る。下から見ると、リッジ上の方が楽だったかも…。

難所を過ぎて、一安心。しかし、この後も藪がうるさく、難儀する。15:20 神威岳南の最低コル着。今日の予定は神威岳を越えた向こうのピーク付近。ちょっと座り込んでいたら、脱水の為か気持ち悪くなり、ここでC3とした。少し急な斜面をカットしてテン場作り。1ヶ月程前に、この辺りから滑落したと思われる、まだ行方不明の単独登山者がいたようだ。今晚遊びに来るかな・・・今日、予定通り進まなかった事で、予備日1日は使わ無くてはいけない事が決まる。

6:28 C2 出発～9:25 ソエマツ岳ピーク～15:20 神威岳南コルC3

行動：8時間 52分、水平距離：5.28km、獲得標高差：約 489m

5月3日 晴れ

4時起床、6:15 出発。私の腹の調子が悪く出発前に時間をくう。昨晚、訪問者は無かった…。最高の天気の中進む。気温が高く朝から雪が腐っていたのでワカンで進むが、途中から急斜面となり、アイゼンに替えた。



7:30 神威岳ピーク着。5座目～！

神威岳の下りも細い所が有った。気温がグングン上がりかなり暑い。雪庇が結構発達している所が有り、気を使う。中の岳の登りに入って所で、向こうから来るトレース発見。何故か引き返して藪に消えている。1493 ピークを巻き気味にトラバースし下る所でトレース発見。しかし、

登りのみで引き返していない様だ。この人、何処へ・・・

ライン取りにトレースを参考にしつつも、登りと下りが逆なので、踏み跡は使えない。今日は頑張って中の岳を超えようと、2人で励ましあう？

16:00 中の岳ピーク着。6座目～！時間が無いので、さっさと下りる。最初に泊まれそうな所が出てきたら、そこで泊まろうと下る。下り途中のC○1260 コルでC4とした。

最終目的地ペテガリ岳が、近くに見える。良くここまで来たな～と思う。それにしても今日は10.5時間行動で、二人ともヘロヘロ～！



C4 テン場

右の山が最終目的地ペテガリ岳

6:15 C3 出発～7:30 神威岳ピーク～16:00 中の岳ピーク～16:50 C4 地点

行動：10時間35分、水平距離：7.39km、獲得標高差：約874m

5月4日 晴れ

いつもの様に4時起床、6:10 出発。相変わらず今日も晴れて気温が高い。雪庇崩落が怖く、雪の所を歩けない分、時間がかかる。腹の調子も悪く、福家さんのポットを借りてお湯をのんで、腹を冷やさないようにする。

12:30 やっと着いたペテガリ岳ピーク。最終7座目～！！福家さんとがっちり握手！



嬉しい～！！



頂上はまさに大パノラマ！更にカムエクに続く主稜線。遥か遠くにウペペサンケ、ニペソツ。振り返れば、神威岳、ソエマツ。

後は西尾根夏道下山で楽勝～！と思ったのが間違え…。西尾根の長い事長い事…。ぜんぜん高度は下がらず、いつまでたっても雪の尾根が…。Co1050 ピークを過ぎて Co800 程でやっとまともに夏道らしくなった。ほんと二人ともヘトヘト。途中雪がまだ出るので、暗くなると迷いそうなので、少し元気な私がどんどん先へ行って、雪の所に足跡を付けた。

19:00 ペテガリ山荘着。まもなく、福家さんも着いた。小屋に転がり込み、荷物を広げたいだけ広げた。私はまた脱水で気持ち悪くなり、横になる。

6:10 C 4 出発～12:30 ペテガリ岳～19:00 ペテガリ山荘

行動：12 時間 50 分、水平距離：12.5 km、獲得標高差：約 788m

5 月 5 日 晴れ

今日はゆっくり寝ようと思ったが、結構早く目が覚める。7:20 ペテガリ山荘発。小さい山を越えて、神威山荘までなので、楽勝なはずですが、二人の体はこの行程を楽勝とは感じなくなっていました。。。30 分毎に休憩してたような。。。

12:00 二人ともヨレヨレで神威山荘に到着。やっと終わった～って感じで握手。

行動：4 時間 40 分、水平距離：9.93 km、獲得標高差：約 301m



ヨレヨレおじさん二人

思いつきで企画した日高縦走。私にとって、ロープもスキーも持たずに雪山に入ったのは、ほぼ初めてと言って良いと思いますが、なんとも充実した山行でした。とにかく天候に恵まれた山行だった。少しだけ本当の山屋になれた気がしました。付き合ってくれた福家さん、本当にありがとう！気が向いたら、中日高もいつか計画するね！気が向いたらだけど・・・。

(文責：栗山)

<データ>

平均行動時間：10 時間／1 日（最終日は除く）

水平移動距離合計：52.63 Km（平均 8.8 km／1 日）

獲得標高差合計：約 4,374 m